

# Let's KYUTECH留学

第7号

## 協定校留学

協定校留学は、九工大が交流協定を結ぶ海外大学で学ぶ制度です。交換留学や協定校主催プログラム、ダブルディグリーなどがあり、目的や期間に応じた多様な学びに挑戦できます。

## No. 01 France

滞在先

フランス  
ロレーヌ大学

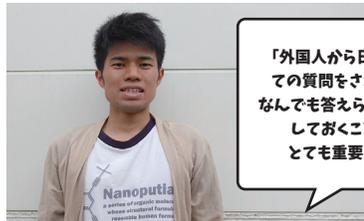


ロレーヌ大学 summer camp [プログラム期間:2025年6月9日~6月22日]

タナカ コウイチ

### 田中 航一さん

情報工学府博士前期課程  
情報創成工学専攻(知能情報)2年



「外国人から日本についての質問をされた際、なんでも答えられるようにしておくこと」がとても重要です!

#### 留学を決めた理由

高校時代、ヨーロッパ留学した友人の話に刺激を受け、「自分もヨーロッパに行きたい」と思ったのがきっかけ。就活後のタイミングで行ける、フランス・ロレーヌ大のプログラムを選びました。

#### プログラム内容

テーマは「障害のある子どもも楽しめるミュージアム体験」。現地の美術館を見学し、中国やアメリカからの留学生と一緒に壺や花を使ったパズル型アクティビティを提案しました。

#### 現地での挑戦

英語でのディスカッションは必須。独自の語学力で積極的に発言し、異文化交流を楽しみました。参加には「英語で議論できる力」が求められます。

#### 一番の思い出

ナンシーやパリで見た建築は圧巻。ヴェルサイユ宮殿や凱旋門、ルーブル美術館の装飾は「芸術そのもの」。屋根の高さや細部の彫刻に息をのむ体験でした。また、ナンシーのスタニスラス広場を見た夜のプロジェクトマップ。異国の仲間と語り合いながら鑑賞した時間は一生の宝物です。



#### 費用と準備

約30万円(渡航費・滞在費含む)。現地はカード決済が主流なので、クレジット上限に注意。日本文化のお土産(寿司のキーホルダー等)は交流のきっかけに!

#### 留学で得たもの

「挑戦すればできる」という自信。英語力はTOEIC800超に、英検準1級も合格。異文化での経験が、これまで超えられなかった壁を突破する心理的な活力になりました。

#### 後輩へのアドバイス

海外留学は異文化コミュニケーションへの不安がつきもの。でも海外では「異世界の人」と構えず、まず会話を楽しむことが大切。国が違っても考え方は意外と変わりません。日頃の些細な悩みや、好きな曲・アニメについてなど、日本でも聞くような話題で盛り上がることも。会話を続けるには、幅広い知識と引き出しが必要。自分の興味分野以外にも日頃から関心を持ち、情報を集めておく、異文化交流がぐっと楽しくなります。



# No. 02 Korea

滞在先  
**韓国**  
釜山大学校



情報工学部 知的システム工学科  
ロボティクスコース4年  
ウラモト ソウタク カワバタ アキト タケノブ ハネト  
浦元 創巧 さん 川畑 瑛斗 さん 武信 羽時 さん

釜山大学校 summer program [プログラム期間:2025年8月3日~8月22日]

## 留学を決めた理由

韓国に興味があったこと、そして研究室で扱うロボット技術を学べる点が決め手でした。費用が安く、期間も3週間と参加しやすかったことも魅力でした。

## プログラム内容

前半はロボティクス基礎から自動運転システムの実践まで学び、後半は韓国語や文化体験。ヒュンダイ工場見学や伝統遊び、料理体験もあり、座学と実践がバランス良く組まれています。

## 現地生活

宿泊は大学近くの学生寮で、徒歩5分の通学。食事は学食やカフェ、韓国ならではの焼肉やチキンも満喫。休日は海沿いや観光地へ。韓国学生が案内してくれるので安心でした。



## 印象に残ったこと

韓国の学生はキャリアに対して柔軟で、休学や海外進学も積極的。日本との違いに刺激を受け、自分も視野を広げたいと思いました。運動文化や街の活気も印象的でした。

## 大変だったこと&工夫

英語版成績証明書の準備に時間がかかるので早めの対応が必要。現地ではキャッシュレスが主流なので、クレジットカードの管理も注意!

## 費用

3週間で5万円未満。食費や交通費が安く、補助もあり負担は少なめ。観光や外食を楽しんでもリーズナブルで、コスト面で安心できるプログラムです。

## アドバイス

常備薬を持参し、韓国の飲み文化には注意。せっかくの機会なので、現地学生との交流やイベントに積極的に参加することをおすすめします。

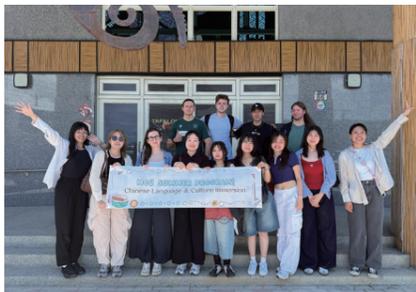
# No. 03 Taiwan

滞在先  
**台湾**  
国立中央大学



工学府博士前期課程 工学専攻  
電子システム工学コース2年  
イナガキ ハヤト  
稲垣 颯 さん

国立中央大学 summer program [プログラム期間:2025年6月22日~7月20日]



## 留学を決めた理由

これまで海外に行った経験がなかったため、短期滞りよりも現地で生活を体験したいという思いが強くなりました。そこで、九工大のプログラムの中から、できるだけ長期で、かつ研究に支障が出ない範囲を先生と相談しながら渡航先を決定しました。

## プログラム内容

中国語の習得を目的としたプログラムで、平日は午前・午後それぞれ3時間、集中して中国語を学びました。週末には他の参加者と地方旅行に出かけたり、バレーボールを楽しんだり、学びと交流の両方で充実した時間を過ごしました。

## 現地での挑戦

毎日、校内のコンビニで現地の人と話すことを目標にしました。最初は緊張しましたが、2週間ほどで自然に会話できるようになりました。さらに、生活リズムを整えるため、8時起床・日付が変わる前に就寝を徹底。日本では珍しいほど規則正しい生活を送りました(笑)。

## 一番の思い出

特に印象に残っているのは、週末に訪れた花蓮への旅行です。田舎ならではの雰囲気があり、中国語の訛りを強く感じられたのが興味深かったです。プログラム最終日には、仲良くなった現地の友人と念願の九份へも行けました。夜市では、日本語で話しかけてくれる店員さんもいて、親日的な文化を実感できたことも良い思い出です。

## 費用と準備

プログラム費用とは別に、生活費は月約6万円ほどでした。移動は小倉~博多間程度の距離でも約600円と交通費が安く、食費もリーズナブルで助かりました。一方、プログラム費用の振込時には現地通貨への両替が必要だったり、現地スタッフとのやり取りがすべて英語だったり、準備段階では少し大変なこともありました。

## 留学で得たもの

英語学習の大切さを改めて実感し、モチベーションが大きく高まりました。TOEICスコアは約600点から帰国後には800点まで向上。さらに、台湾は日本と似ていて生活面で大きなギャップがなかったため、次はヨーロッパや東南アジアにも挑戦してみたいと思うようになりました。

## 後輩へのアドバイス

留学前には不安もあると思いますが、現地に行けば何とかなるものです。英語も意外と伝わります。自分に合うプログラムがあれば、積極的に挑戦してみてください。私は「もっと早く行っておけばよかった」と感じたので、低学年のうちに行くことをおすすめします!



# No. 04 France

滞在先  
**フランス**  
サンティエヌ  
国立高等鉱山学院



# Interview

工学府博士前期課程 工学専攻  
マテリアル工学コース1年

ヨシダ ナオキ  
**吉田 直希 さん**



ダブルディグリー [2025年9月14日~2026年9月30日]

工学府博士前期課程 工学専攻  
マテリアル工学コース1年

マツモト リン  
**松本 凜 さん**



交換留学 [2025年9月15日~2026年2月3日]

工学府博士前期課程 工学専攻  
マテリアル工学コース1年

イワサキ カエデ  
**岩崎 楓 さん**



交換留学 [2025年9月15日~2026年2月3日]



## Q. 長期休暇中の過ごし方について

吉田 現地の友達とクリスマスマーケットに行ったりして楽しみましたが、基本的には論文執筆に多くの時間を充てていました。せっかくヨーロッパにいたので、今後はさらに色々な場所を訪れる予定です。

松本 12月前半はオンライン面接や日本側の中間発表準備が重なり、旅行の計画は立てにくい状況でした。空いた時間はNetflixなどで気分転換をしながら過ごしました。

岩崎 クリスマス休暇にヨーロッパを周遊しました。一方で、夜行バスでの深夜移動や、早朝・深夜の都市移動では緊張する場面もあり、危機管理の重要性を強く実感しました。

## Q. 就活の話について

松本 夏インターンの参加をきっかけに早期選考へ進み、オンラインのグループディスカッションや面接を経て内々定をいただきました。留学中もオンラインインターンに参加し、志望度や適性を見極めていきます。

岩崎 夏のインターン参加や、オンラインインターンなどに取り組んでいます。九工大のオンライン授業を並行して受講しており、帰国後の就活にも十分間に合う見通しです。過度な気負いはなく、計画的に進めています。

## Q. ダブルディグリーの大変さについて

吉田 ダブルディグリーは実質的に「飛び級」のような形で、いきなり海外の修士2年(M2)の環境に飛び込むことになるため、相應の覚悟が必要です。私の場合、自身の医療系への興味から背景分野が完全には一致しない状態でのスタートでしたが、指導教員にも恵まれ、日々の成長を実感しています。非常にハードではありますが、その分得られる学位と経験の価値は極めて大きいと感じています。

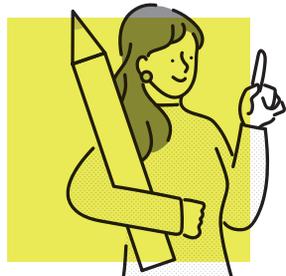
## Q. 現地での学業・研究・生活の中で、特に印象に残っている出来事や、困難を乗り越えた経験を教えてください。

吉田 授業でわからないことがあれば、積極的に教授へ質問することを大切にしています。周囲の学生も頻繁に授業を止めて発言するので、自然と聞きやすい雰囲気です。

松本 授業は自発的な発言が前提で、英語力に不安がある中でも「下手でも伝える」姿勢を徹底しました。言語クラスはメンバーが入れ替わるため、そのたびに関係構築が必要となり、積極性とコミュニケーション力が鍛えられました。

岩崎 板書が筆記体で読めず、まず“文字が読めない”ことが最初の壁でした。AIでブロック体に変換したり、友人のノートを参考にしながら追いつきました。数学の口頭表現が日本と異なり苦勞しましたが、数式自体を手がかりに約1ヶ月で慣れました。





九工大は、  
留学にチャレンジする  
九工大生を

# 全力で応援します！

九州工業大学では、みなさんの「留学してみたい！」の  
気持ちを様々な形でサポートしています。

## 危機管理サポート

### ① 危機管理安全講習

留学される方は、海外に行く前に、留学についての基礎知識や留学中のリスクやそのマネジメント等について学ぶ授業を必修で受けていただきます。これにより、自身の身の守り方、危機対応に関する意識と感受性を高めます。

### ② 学研災付帯海外留学保険

海外渡航は思わぬアクシデントがいついっばい、フライトが急に変更になったり、現地で病気になったり。そんな時に支えてくれるのが海外留学保険です。九工大では、リーズナブルでサポートの手厚い保険をご案内しています。

### ③ 危機管理サービス (J-TAS)

急に熱が出たらどうしたらいい？パスポートがなくなった！そんな時に、24時間いつでも日本語でサポートしてくれるサービスに大学として加入しています。留学中、ご家族も含め、無料でいつでもご相談いただける心強いサービスです。

## 海外渡航サポート

### ① 海外渡航奨学金 - JASSO 支援

九工大で企画するプログラム、あるいは海外協定校が主催するプログラムへ参加する学生への奨学金です。

### ② DDP (ダブルディグリー) 奨学金

ダブルディグリーとは、九工大の学位と海外の大学の学位、ダブルで取れる制度です。九工大では、大学院生向けに制度をご準備しています。時間もかかりますしハードですが、海外の学位を取りたい方はぜひチャレンジしてみてください。

### ③ 後援会

大学のプログラムとは別に個人で留学にチャレンジする方への支援金です。

## 留学のことをもっと知りたい方はWEBをご覧ください！

新着情報は

### X(旧Twitter)をCheck!

X(旧Twitter)には、海外渡航や留学にかかる奨学金情報、よくある質問Q&Aや渡航中の先輩の様子など、留学にまつわる様々な情報を発信中！ぜひフォローをお願いします。



X(旧Twitter)  
@GCE\_Kyutech



各渡航プログラムの詳細は

### こちら！

一覧表の気になるプログラムをタップすると、さらに詳細が見られます！

海外留学プログラム  
案内サイト



## 公式LINEアカウント 始めました！

九工大の海外留学プログラムや学内の国際交流イベントの情報をいち早くお届け！**友達追加**お待ちしております！



## 編集後記

スタッフの  
海外体験談  
アレコレ

**川合** 日本は「時間をかけず」対して海外は「1から手作り手間暇かけて」...料理のギャップを感じた留学ーコマです。留学先のお気に入りには大きなミートボール&フライドポテト。

**吉良** カナダに初めて行ったとき超小型機(十数人乗り)でカナディアンロッキーを超え、すごい揺れたので、もう小型機は乗らないぞ!という学びをえました。

**松浦** アジア料理が好きすぎて、韓国や台湾では限界突破で食べ過ぎてしまい、毎回おなかを壊すのが定番に。胃腸薬は欠かせません。

**本川** 学生時代、ホームステイ先で親子丼を作ったら、出汁が全然刺さらず微妙な顔に。笑「え、そこ!？」となる文化の違いにびっくりした思い出です。